

日本学術会議 第一部人文・社会科学基礎データ分科会

(第 25 期・第 2 回)

議事要旨

日 時： 令和 3 年 5 月 30 日(日) 15 時 00 分～16 時 25 分

会 場： オンライン会議 (zoom) にて開催

出席者： 勝野正章、坂田省吾、佐藤嘉倫、野口晃弘、矢野桂司、久留島典子、
佐藤岩夫、本田由紀 (8 名)

欠席者： 岡崎哲二、若尾政希、渡部泰明

配布資料

資料 1 前回議事要旨

資料 2 第一部人文・社会科学基礎データ分科会審議経過報告 (第一部会資料)
佐藤加筆

資料 3 学術調査員募集要項

議 題

(1) 前回分科会議事要旨の確認

資料 1 にもとづいて、前回分科会議事要旨が了承された。

(2) 収集すべきデータに関する検討

資料 2 にもとづいて、以下のことが確認された。

- ・ 前回議論以降の加筆 (資格や DB など) の確認を行った。
- ・ できるところから公開していき、追加してもらうという方針を確認した。
- ・ 分野別委員会へデータ提供を、佐藤委員長から各分野別委員会委員長に依頼する。分野別委員会の負担を最小限にするよう努める。
- ・ 学協会の会員数などの情報は、事務局が収集している DB を活用する。

(3) 学術調査員の任務

資料 3 にもとづいて、以下のことが確認された。

- ・ 学術調査員の公募状況を確認する。本分科会から面接が必要な場合は、役員が対応する。
- ・ 今次の学術調査員は、本分科会の専属となる。

(4) その他

HP の作成・公表について以下の議論がなされた。

- ・分野別、内容別の見せ方の工夫が必要である。
- ・HP 画面の試作品を学術調査員に作成してもらい、公表前に本分科会委員で確認する（なお、採用する学術調査員の能力によっては、データ収集を中心に行ってもらおう）。
- ・日本学術会議の HP 上のどこに「人文・社会科学基礎データ」のページを設けるかは、前期からの議論を踏まえたうえで、幹事会、第一部役員、広報委員会、事務局担当者などとの調整が必要である。第一部の HP に置くことは容易であるが、期を超えても持続的に作成・公表する工夫が必要である。
- ・誰に対して「人文・社会科学基礎データ」を提供するのかについて、前期からの引継ぎをもとに、第一部人文・社会科学の役割とその振興に関する分科会（+第一部拡大役員会の協力）「提言 学術の総合的發展をめざして 一人文・社会科学からの提言一」（2017 年 6 月 1 日）の議論を踏まえた、「学術白書（仮称）」の作成・公表の目的が再度確認された。具体的には、人文・社会科学の教育研究上の諸課題の達成実績とその自己評価、国や分野を超えた研究者間の対話、学生・大学院生・高校関係者との対話、政策決定機関・資金配分機関・メディア関係者との対話など、多面的・多層的な場をつうじて対話を行う「学術のフォーラム」としての機能、など。
- ・関連学協会の HP など、リンクしてもらおうなど広報活動が必要である。

次回分科会は 8 月を予定し、採用した学術調査員にも参加いただく。

以上